

双葉通信【第 252 回】(被災地を行く№29) “ふくしまの切り捨ては許さない”

2025 年 7 月 20 日 上田 勉

福島県双葉町のスーパー「イオン双葉店」8月1日オープン 4,500 品目取り扱い 住民の買い物環境向上期待

「福島県双葉町が J R 双葉駅東側に整備する商業施設のうちスーパーマーケット「イオン」は、8月1日午前10時30分にオープンする。町とイオン東北（本社・秋田市）が1日、町役場で記者会見し発表した。東日本大震災と東京電力福島第1原発事故発生後、町内に立地する初のスーパーとなる。住民の買い物環境が向上すると期待される。

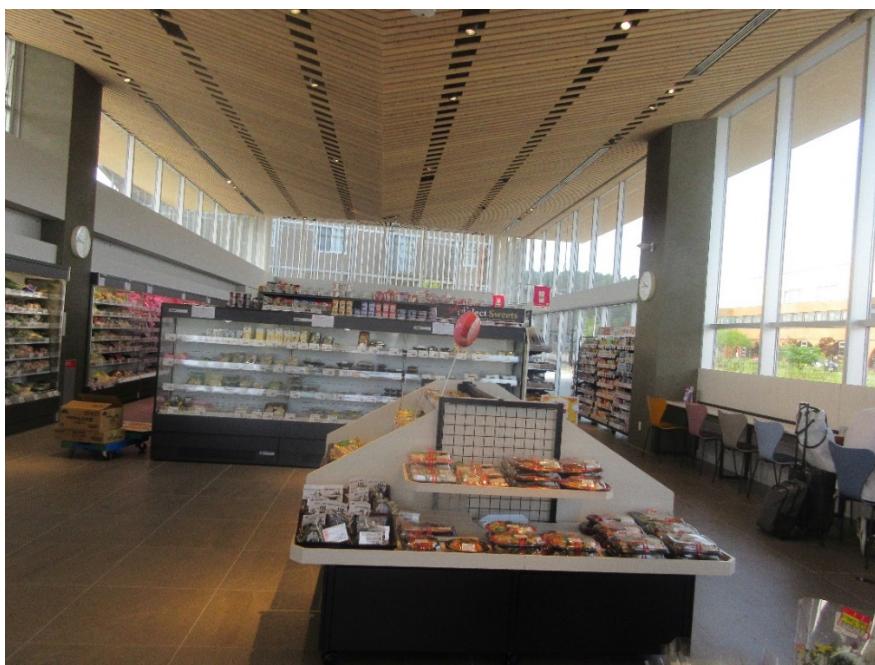
店名は「イオン双葉店」。売り場面積は約250平方メートルでイオン店舗の中では小規模だが、野菜や弁当、総菜、刺身などの食料品をはじめ、日用品、医薬品など計約4,500品目を取り扱う。地場産品もそろえる。イートインスペースを設け、住民らの憩いの場とする。

営業時間は午前8時から午後7時まで。年中無休。地元を中心にパートやアルバイトの従業員計6人を新規雇用した。

イオン東北の辻雅信社長は会見で「日々の営業を通じて、にぎわいのあるまちづくりに貢献していく」と決意を示した。伊沢史朗双葉町長は「(開店で) 帰還や移住定住の促進に弾みが付く」と歓迎。イオン双葉店の新田信哉店長は「地域の皆様との交流を大切にし、一緒に店を作り上げていきたい」と述べた。

イオンが双葉町に店を構えるのは初。イオン東北は現在、町内で移動販売を実施しているが、双葉店開店後はルートを変更する。町役場前を廃止し、町営住宅「駅西住宅」での販売回数を増やす方針。訪問販売の開始も計画している。」

(「福島民報」2025年7月2日付け)



【8月1日にオープンした「イオン双葉店」(双葉町)】(2025年8月24日撮影)